

# 楽しく学び文化にふれあうまちづくり

## 学校教育の充実

### 現況と課題

今日社会では、少子化、核家族化が一段と進み、人々の価値観も大きく変化してくるなど、様々な要因が重なって子どもたちの生活環境は大変厳しいものとなっています。このため、学校では不登校、いじめ、非行などの問題が生じています。本町の学校でも不登校や問題行動の発生など例外ではなく、子育てや教育のあり方が問われています。

したがって、今日基礎学力の向上を図ることはもとより、子どもたちの「生きる力」をどのように身につけさせるか、学校、家庭、地域が連携して取り組むことが求められています。

また、小学校は統合により教育環境の整備は図られましたが、中学校については校舎の老朽化が著しく進んでおり、改築が必要となっています。

### 基本的方向

心豊かでたくましい人間形成を目指し、家庭や地域と連携を図りながら、思いやりや感謝の心を重視した「心の教育」を充実し、自ら学び、主体的に社会に対応できる「生きる力」を育む教育を進めます。

また、教育施設・環境の整備を進めるとともに、読書教育、情報教育の充実を図ります。

### 施策

#### (1) 教育内容の充実

- 「生きる力」を育むことを目指した学習指導要領の趣旨に沿って、指導方法の工夫と改善を図り、児童・生徒の理解度を把握しながら、「分かる授業」の推進に努めます。
- 体験的な活動を通して基本的な生活習慣や思いやりのある豊かな心の育成に努めます。
- 不登校、いじめ、非行などの諸問題を克服するため、子どもたち相互の好ましい人間関係



を育て、自主的に判断し、行動して自己を活かしていくことができるよう生徒指導に努めます。

- 教職員の資質、指導力の向上を図るため、効果的な研修の実施、協力して課題解決を図る体制づくりを強化します。
- 地域に開かれた学校づくりを進めるため、学校、家庭、地域の連携を一層深めます。
- インターネットなど高度情報化機器を活用した情報教育や国際交流員・英語指導助手の活用による国際理解教育を促進し、情報、国際化社会に対応できる児童・生徒の育成に努めます。
- 学校図書館への専任職員の配置による機能の充実、読書ボランティアの活用により児童・生徒の読書活動を促進します。
- 障害のある子どもたちの障害の実態に即したきめ細かい指導、教育内容の充実に努めます。

(2) 教育環境の向上

- 教育効果を高めるため校舎・体育館の改修、特別教室の充実、コンピュータ導入など年次的に施設、設備、教育備品の充実に努めます。
- 児童・生徒数の減少により生じた余裕教室の有効活用を図るとともに学校施設の地域への開放を進めます。
- 本に親しむ教育を進めるため、学校図書館の整備充実に努めます。
- 子どもたちが安心して食べることのできる給食を提供するため、学校給食施設の整備拡充に努めます。
- 障害のある児童・生徒の校内活動を促進するため、施設のバリアフリー化など適正な就学環境の整備に努めます。

(3) 特色ある学校づくりの推進

- 学校が独自の創意工夫による教育活動を実践し、特色ある学校づくりができるよう支援します。
- 専門的知識・技能をもった地域の人材を活用し、幅広い教育を実施することにより、子どもたちの生きる力、ふるさとを思う心の育成に努めます。

主 な 事 業		
区 分	事業主体	5 年間の事業
小学校	町	各小学校の修繕 校内LAN整備(岩美北・岩美西) 障害者用トイレ(岩美北・岩美西)
中学校	町	校舎・体育館・プール改築 英語指導助手の配置
小・中学校	町	特色ある学校づくりの支援 学校給食共同調理場改築

## 生涯学習の充実

### 現況と課題

町民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習し、心豊かに生きがいのある生活が送れるようにするためには、各年代に応じて自主的な学習ができるとともに、心豊かな人づくりやまちづくりなどのボランティア活動に参画できる環境整備が必要です。

そのため、自然豊かな町全体を学習の場として、関係機関・団体との連携を図りながら、関連施設の整備や多様化する町民の学習ニーズ、生活課題に応じた学習条件の整備を推進しています。

しかし、学習したことを活かすボランティアの活動の場の提供や、まちづくり活動への参画などの環境整備は十分とは言えず、今後さらに生涯学習に関する総合的な調整を行いながら、学習社会の構築を推進する必要があります。

また、本町では、青少年健全育成協議会を設置して、その関係機関・団体と連携し、心豊かでたくましい青少年の育成を目指していますが、今後さらに、完全学校週5日制の実施に伴い、社会や地域を巻き込んだ健全育成のための仕組みや環境づくりが必要です。

そして、「生きる力」を育むための様々な体験活動等を提供するとともに、精神的な成長や自己実現を図る必要があります。

### 基本的方向

町民の各世代や各時期において、その能力、適性、意欲に応じた学習機会、学習情報の提供を推進するとともに、町民自らが主体となった生涯学習活動の展開を支援し、町民主導のまちづくり体制の構築に努めます。

また、生涯学習の拠点施設となる中央公民館・地区公民館の整備充実、関連施設の活用連携



を図ります。

次代を担う青少年を育成する組織の充実及び活動体験の場の整備を推進します。

## 施 策

### (1) 生涯学習推進体制の充実

- 町民の学習ニーズに応える学習機会、学習情報の提供を推進します。
- 学習したことを活かすボランティア活動の場の提供を推進します。
- 生涯学習推進員の活動の充実を進めます。
- 関係機関・団体との連携、調整を行い、総合的な推進体制の充実を進めます。

### (2) 町民が参画するまちづくり活動の推進

- 公民館活動の拡充強化を図り、まちづくり運動を推進します。
- NPO、ボランティア団体等社会参加団体の育成に努めます。

### (3) 生涯学習施設の整備

- 中央公民館の機能の充実と図書の貸し出し等サービスの向上に努めます。
- 地区公民館の整備充実を進めます。
- 生涯学習の拠点となる総合文化会館の建設に向けた検討を引き続き進めます。

### (4) 青少年の健全育成

- 学校、地域、NPO岩美自然学校等関係機関、団体の連携による青少年の健全育成と体験活動の機会の充実に努めます。
- 地域ぐるみでの非行防止や健全な環境づくりを推進します。
- 青少年自然体験宿泊施設整備を促進します。
- 完全学校週5日制に配慮した地区公民館活動の充実に努めます。

## 主 な 事 業

区 分	事業主体	5カ年の事業
生涯学習推進体制の充実	町	IT講習会等各種講座の開設
生涯学習施設の整備	町	地区公民館の建設 (浦富・大岩・岩井地区)
青少年の健全育成	町	青少年自然体験宿泊施設整備

## 生涯スポーツ活動の推進

### 現況と課題

町民一人ひとりが心身両面にわたる健康な生活を営むことは、心豊かでふれあいのあるまちづくりの原動力です。

そのためには、町民が生涯を通して日常生活の中で、気軽にスポーツや体力づくり活動を継続して実践することのできる体育施設の整備や指導体制の充実、仲間づくりが必要です。

本町のスポーツ・レクリエーション活動の状況をみますと、少年から高齢者まで多くの人々が年代や性別、体力等に応じて競技スポーツや軽スポーツなど様々な活動に取り組んでいますが、成人期は大会参加や大会前の一時的なものであるなど、単発的な活動にとどまっていることが多く見受けられます。

今後さらに、町民一人ひとりが生涯を通して日常生活の中で、気軽にスポーツや体力づくり活動を継続して実践することができるよう、世代を越えて誰でも参加し継続して親しむスポーツの普及と仲間づくりを図らなければなりません。

また、町内には町民体育館、総合運動場、岩井グラウンドゴルフ場、町民テニスコート、地区社会体育施設（体育館・運動場）6施設、学校体育施設4校など施設は整備されていますが、施設が分散、一部老朽化しており、各施設の有効活用や維持管理、高齢者・障害者に優しいバリアフリー化など計画的整備が必要です。

### 基本的方向

生涯スポーツのまちづくりを目指し、町民が日常生活の中でスポーツ・レクリエーション活動が親しめる環境整備を図ります。

また、ライフスタイルにあったスポーツ・レクリエーション活動が展開できるように、年齢、性別、運動能力にかかわらず楽しめるニュースポーツの紹介など、多様な生涯スポーツの普及啓発に努めるとともに、指導者の充実、団体活動の支援に努めます。

### 施策

#### (1) スポーツ施設の整備充実

- 町民体育館・町民総合運動場などスポーツ施設の整備充実と有効利用に努めます。
- 武道館の整備を進めます。

#### (2) 生涯スポーツ活動の普及と推進

- ニュースポーツ普及講習会やスポーツ・レクリエーション大会を開催します。
- スポーツ・レクリエーションの指導者養成と団体育成に努めます。
- スポーツ・レクリエーションに関する情報を提供します。



## 芸術・文化の振興

### 現況と課題

近年、「物の豊かさ」から「心の豊かさや人間を大切にする時代」へと転換している社会環境の変化のもと、地域の文化が見直されています。

町内では、各地域の生活から生まれてきた様々な芸術文化活動が行われており、先人が育んできた地域文化の保存と伝承を促進し、新たな文化の振興に努めることが重要です。

近年、すぐれた音楽、演劇等の芸術にふれる機会の増加など、町民の芸術文化活動に対する関心は徐々に高まりつつあります。

これからの町民の芸術文化活動に添えていくためには、公民館活動や様々な場での芸術鑑賞機会の提供と、ニーズに応える施設の整備充実が必要です。

また、因幡の菖蒲綱引きや牧谷のはねそ踊り、麒麟獅子舞いなど多くの無形民俗文化財が保存伝承されていますが、全般的に伝承者の高齢化が見受けられ、後継者の確保が必要です。

さらに、町内各地には先人が築いてきた新井三嶋谷墳丘墓や岩井廃寺塔跡、二上山城跡、浦富台場跡など多くの貴重な歴史遺産が保存されており、今日までその整備活用に努めてきましたが、さらに、歴史学習やレクリエーション活動などによる活用を推進する必要があります。

豊かな人間形成を図っていくためには、すぐれた芸術文化や歴史的遺産にふれることが必要で、今後も芸術文化の振興と歴史的遺産の整備活用を推進します。

### 基本的方向

平成14年開催の国民文化祭を契機に、すぐれた芸術鑑賞機会の提供を推進するとともに、文化伝承指導者の育成、団体の支援に努めます。

また、歴史文化のある町として、歴史的遺産の保存活用、歴史学習施設の整備を図ります。

### 施策

#### (1) 豊かな芸術文化の振興

- 平成14年開催の国民文化祭「童謡唱歌フェスティバル」の成功に向けて、町内出演団体のレベルアップを図ります。
- 音楽、演劇等のすぐれた芸術鑑賞機会の提供を推進します。
- 新たな文化活動の振興支援と文化伝承指導者の育成、団体の支援を図ります。
- 総合文化会館の建設に向けた検討を引き続き進めます。(再掲)

#### (2) 歴史文化の保存と活用

- 貴重な歴史資料の収集整理保存と研究を進め、新編岩美町誌を編集・発行します。
- 町にとって貴重な文化財の指定拡大と保存活用を図ります。
- 発掘調査で出土した考古資料や町内に残る歴史資料の展示活用を図るため、また、先人の業績を顕彰するための施設の検討を進めます。

主 な 事 業

区 分	事業主体	5カ年の事業
豊かな芸術文化の振興	町	国民文化祭「童謡唱歌フェスティバル」の開催（平成14年度）
歴史文化の保存と活用	町	新編岩美町誌の編集・発行



## 男女共同参画の推進

### 現況と課題

農業、漁業を中心とした風土は「家」を中心とした古い因習や社会通念、習慣が今もなお家庭生活、社会生活などに影響しており、固定的な性別役割分担意識が根強く残っています。

女性も男性も家庭や社会において対等な構成員としての役割を担い、男女共同参画社会を確立することが大切です。

社会的、文化的に形成された男女の性差（ジェンダー）解消のための取り組みを行い、学校教育、家庭、職場、地域などあらゆる場を通して、男女平等意識を高める教育及び女性の積極的な社会参画意識を高めるための広報活動、啓発活動を推進しながら男女平等意識の高揚に努める必要があります。

### 基本的方向

個人の尊厳と男女平等意識を確立し、男女共同参画による活力ある地域づくりを推進します。

そのため、健康福祉の増進とうるおいのある生活の実現及び働きやすい環境整備と労働条件の整備を促進します。

### 施策

#### (1) 男女共同参画の推進

- 個人の尊厳と男女平等観に立った教育を進めます。
- 政策決定の場への女性の参画を推進します。
- 就業機会の拡大、職場における男女平等の推進に努めます。
- すこやかな子育て環境の整備を推進します。(再掲)

主 な 事 業		
区 分	事業主体	5カ年の事業
推進体制の整備	町	岩美町男女共同参画プランの策定

## 人権尊重意識の高揚

### 現況と課題

岩美町では、同和問題の解決を「人権尊重の町づくり」の柱として取り組んできました。

しかし、差別事象にみられるように完全な差別解消に至っていないことから、平成12年より「自らが置かれている社会的立場」を深める学習が取り組まれ、学校、地域でこれまでとは違った取り組みがなされ、効果が現れてきました。

これらの学習を通して、女性、障害者、子ども、高齢者、外国人等の人権問題をもっと取り入れた学習、人権尊重の立場に立った一人ひとりを大切にする学習へ発展させ、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない、明るい希望にあふれた人権文化の花開く岩美町をめざして教育、啓発に取り組む必要があります。

### 基本的方向

「岩美町あらゆる差別をなくする条例」の精神を基本理念に同和問題をはじめとするあらゆる差別を撤廃するために生活環境、社会福祉、産業、就労、教育など各分野にわたり総合的かつ計画的な施策を進めると共に「人権教育、啓発促進法」及び「人権教育のための国連10年」に関する行動計画を取り入れながら差別と偏見を許さない人権尊重意識の高揚に努めます。

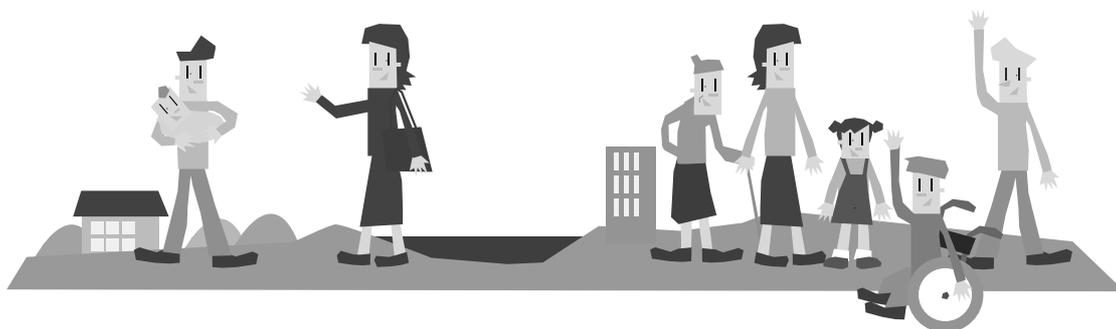
### 施 策

#### (1) 人権尊重意識の高揚

- 同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に対し正しい理解と認識を養い、意識の高揚を図ります。
- 人権擁護委員や関係団体等との連携を取りながら、相談体制の充実を図ります。

#### (2) 同和教育の推進

- 岩美町同和対策総合計画に沿って、啓発、学習を進めます。
- 同和教育を生涯学習に位置づけ、あらゆる場を通して学習できる体制づくりを進めます。
- 文化センターの機能の充実に努めます。



# 活力あふれるたくましいまちづくり

## 農業の振興

### 現況と課題

本町の農業を巡る最近の情勢は、担い手の減少、就農者の高齢化などが一層深刻になっていることに加え、本町の農家1戸当たりの平均耕地面積は0.6haで県平均の1.0haより低く、零細な農家が主体を占め、第2種兼業化の進行により生産力並びに生産環境の立ち遅れが目立っています。

併せて、ミニマムアクセスによる米の輸入に代表されるような農産物の輸入の増加等に起因する国内農産物の価格は低迷し、生産意欲の減退、農村における連帯意識の希薄化などの問題が生じています。

また、社会経済の変化に伴い農山漁村では生活の都市化、多様化による住民の生活環境への関心は年々高まっています。

このように、かつて経験したことのない厳しい環境化での農業の維持・発展を図り、活力ある農山村地域を形成するという認識の上に立ち、農業を町民にとってかけがえのない重要な産業と位置づけ、広く町民の認識を深めるための運動を展開するとともに、経営感覚に優れた担い手を育成確保しつつ、生産基盤の整備、低コスト化、高品質化を一層進めるなど体質強化を図り、高収益で魅力ある農業を振興し、農業集落の活性化を図っていかなければなりません。

同時に農林漁家等を中心とする地域住民の生活環境の整備を図り、農山漁村の活性化を進めていくことが重要となっています。

### 基本的方向

耕作放棄地の防止や遊休農地の解消、有害鳥獣の被害対策に努めながら、農用地の計画的活用及び適正な保全管理を行います。

農産物を巡るボーダレス化、産地間競争の激化等新たな問題に対応して、(財)岩美町農業振興公社を中心とした農地の利用集積による大規模経営を行う担い手の育成・確保、中山間直接支払制度の効率的な活用による集落営農組織の再編及び広域的な組織並びに集落営農組織の育成を推進します。

また、定年退職者等を組織化し、農業労働力の確保を行います。

後継者対策については、学校教育の中に農業を教材として積極的に取り入れていくとともに、農業を職業として目指す若者に対して、就農条件の基盤づくりを支援していきます。

市場戦略の見直しと、産直ルートの新たな関係機関と協力しながら研究を行います。

また、町内の農産物加工施設を利用し、二次製品化による付加価値を高めた農水産物を各種イベントや各地区で取り組んでいるふれあい市等の充実を図りながら販売促進を図るとともに、地元消費者等を対象に地産地消の推進を図ります。

地域住民の積極的な参画による集落の産業基盤整備及び生活環境整備を集落を単位として総合的に行い、住み良い生活空間の形成を図ります。

## 施 策

### (1) 農業生産基盤の整備

- 旧制度ほ場整備地域の太谷地区については、大型機械作業ができる大区画によるほ場整備を進めます。
- 農作物の輸送の効率化と省力化を図るため、広域農道、農免道路、一般農道の整備を進めます。
- 田畑輪換ができる水田の汎用化、高度化を図るため、用排水施設、暗渠排水施設の整備を進めます。
- 老朽化している用排水施設の整備を進めます。



( 2 ) 農畜産物の生産振興

- 米作と転作を組み合わせた合理的な地域輪作農法を推進しながら、効率的な生産のための新たな組織作りや既存組織の再編成並びに施設の整備等を行い、低コスト生産を促進します。
- 米は生産調整が継続すると見込まれますが、畜産農家との連携を強め有機的な栽培方法により、付加価値の高い米の生産流通体系を確立し、消費者の需要の動向に即した市場性の高い良質米の生産を振興します。
- 転作の主要作物として推進している大豆、麦等については、ブロックローテーション方式による集団化と機械化一環体系による省力化及び認定農業者等の担い手への土地利用集積をさらに推進し、生産の安定と高品質化に努めます。
- 野菜、花きについては、地域に適した特産品の振興と栽培面積の拡大に努めます。  
また、ハウス等生産施設の導入及び既存施設の有効利用により品質の向上を図ります。  
また、生産組織の育成、生産の団地化を推進し、生産体系の省力化や作業環境の改善を図ります。
- 果樹生産の中心となっている梨については、老木及び急傾斜地等生産性の低い園地の耐病性品種への改植、網掛け施設の整備等を行い、品質の向上と、生産にかかる労力を軽減し、生産力の維持を図ります。
- 畜産については、畜舎、搾乳施設及び堆肥処理施設等の整備を周辺住民の理解の元に推進し、経営の低コスト化、省力化を図ります。  
また、耕種農家との連携により、地域内のリサイクルシステムを確立し、畜産ふん尿の有効利用を推進します。
- 農業に関する諸データの管理システムを整備し、生産状況、土地の集積状況等の確実な把握を行います。
- 有害鳥獣(イノシシ)の被害対策として、捕獲柵電気柵等の設置に対して支援を行います。

( 3 ) 担い手の育成

- (財)岩美町農業振興公社を中心に認定農業者への土地利用権の設定、農作業の受委託等を積極的に推進し、意欲ある農業者へ農地の集積を進め、経営規模の拡大に努めるなど、中核的農家の育成・確保を図ります。
- 作付作物の栽培協定、農作業の受委託及び機械施設の共同利用等について集落及び若しくは複数の集落単位で取り組み、作業規模の拡大による低コスト生産を目的とする集落営農を推進します。また、体制が整った集落については、組織の法人化を進め、生産体制の基盤を確実なものにしていきます。
- 農業後継者の育成について農内農外から農業に意欲のある者が円滑に参入し得る制度の充実強化を図ります。

( 4 ) 農産物の加工・流通・販売体制の確立

- 農協、全農などを通じて消費市場の情報収集を図るとともに、消費者が求める美味しく安

全で高品質な農産物の計画的な生産・加工・流通体制の整備を促進し、販路の確保と市場の拡大に努めます。

- 農協・生産組合等による直販体制を検討しながら、流通の促進を図ります。
- 地元農産物を使った新たな加工品づくりの研究を進めます。
- 学校給食への食材供給を積極的に進めるとともに、地元消費者の消費形態の把握、地元農産物の積極的なPRなどにより、生産者と消費者の有機的な連携のもとに地産地消の推進を行います。
- 農産物の生産から販売までを一貫して行う認定農業者を核とした企業的な経営体を育成し、新たな販売体制を確立します。

(5) 農山漁村の環境整備

- 農山漁村の特性を十分に発揮しながら、生産基盤、生活環境の整備、公園・緑地や水辺空間の整備によって農山漁村のやすらぎの場を造り、ゆとりとうるおいのある町づくりを推進します。

(6) グリーンツーリズムの推進

- 観光事業との連携を促進し、ふれあい市、各種イベントの開催及び参加、集落農園等の利用を通して観光農業の振興を図ります。
- 地域の連帯意識を高めるための話し合い、活動の場及び町内外の人々との交流の場として集会、交流施設の整備を進めます。

主 な 事 業

区 分	事業主体	5 力年の事業
ほ場整備	県	県営ほ場整備事業（大谷地区）A = 53ha
担い手の育成対策	認定農業者等	鳥取県21世紀水田農業確立対策事業 新規就農者支援事業

## 林業の振興

### 現況と課題

中山間地域の過疎化、高齢化等の問題から手入れがなされていない山林や林業所得の不振のため、間伐や造林を放棄し、育成がなされていない森林が増大してきている。また近年、森林病虫害等を要因とした松枯れ被害が目立っており、森林の持つ水源涵養や災害防止といった国土の保全などの公益的機能の面や、景観的役割にも支障をきたしており、環境整備の観点からも早急な対策が必要です。

### 基本的方向

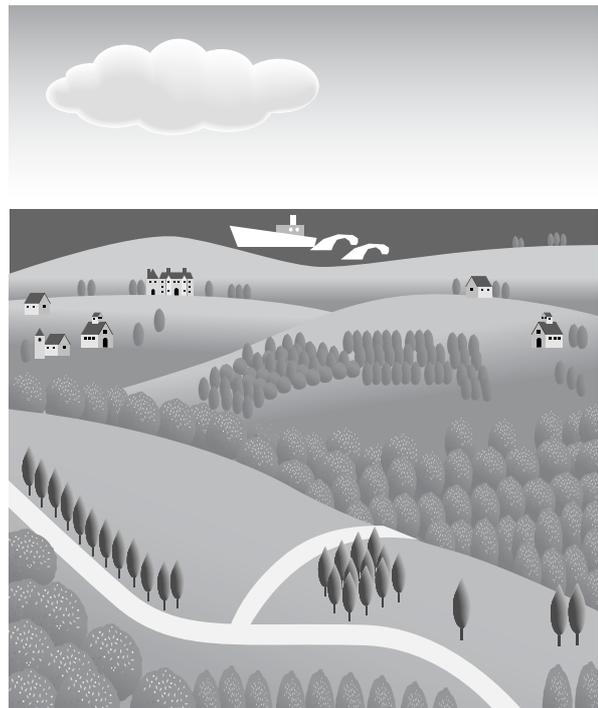
森林の育成を組織的、計画的に行い、生産意欲の向上を促し、広域基幹林道の整備をはじめ、林内作業路網の整備や林業施業の低コスト化を図り林業生産基盤の強化を目指します。

また森林の持つ公益的機能の確保や景観の維持のための施策を行います。

### 施策

#### (1) 林業生産基盤の整備

- 広域基幹林道等の林道網の整備を促進します。
- 分収造林、町行造林を促進し、適切に管理された森林の造成に引き続き努めます。
- 公益的な機能を発揮させるため、間伐を促進します。
- 環境に留意し、地域の意見や要望を取り入れた総合的な森林病虫害等の防除並びに枯松の駆除を進めます。
- 特用林産物の生産振興を図り、林業生産意欲の向上に努めます。
- 林業組織の育成を図り、林業労働者の確保を促します。



## 漁業の振興

### 現況と課題

水産業は、重要なたんぱく源である水産物を住民に安定的に供給することを通じて、健康的で豊かな食生活の一翼を担うとともに、経済の振興に大きな役割を果たしています。

そのような中、本町の漁業は沖合底曳網漁業・イカ釣漁業を中心に年間約37億円の水揚げがあり、岩美町の重要な基幹産業であります。

しかし、本町の水産業をめぐるのは、周辺水域の資源の悪化等による漁業生産の減少、担い手の減少や高齢化の進展など多くの問題を抱えています。

さらに、漁村では漁業従事者、漁家世帯の減少や若者の流出が続いており、地域の活力の低下につながっています。

このような厳しい状況に対応するため、つくり育てる資源管理型漁業、稚貝や稚魚の放流事業を推進し、水産資源の育成確保に努めるとともに、流通体制の整備、後継者の育成確保、漁業団体の育成強化を図ること、また若者が定住するための生活環境の整備、地域資源を生かした村づくりなど地域の活性化を図る必要があります。

### 基本的方向

沿岸漁業の振興を図るため、漁場の整備開発、増養殖場の整備を進め水産資源の保護を図るための資源管理型漁業の推進に努めます。

販路拡大を図るため、高鮮度ストック機能の充実に努め、消費者に新鮮な魚介類を提供できるようふれあい市、各種イベント等の充実に取り組みます。

また、第10次漁港整備長期計画等に基づき、漁港の機能充実と快適環境の整備を進めます。

新たな漁業秩序に対応するため、漁協合併の推進など経営基盤の強化に努めます。また、新規就業者の育成を支援し、後継者対策に努めます。

さらに若者が定住するための生活環境の整備と魅力ある漁村づくりに努めます。



## 施 策

### ( 1 ) 水産資源の育成・確保

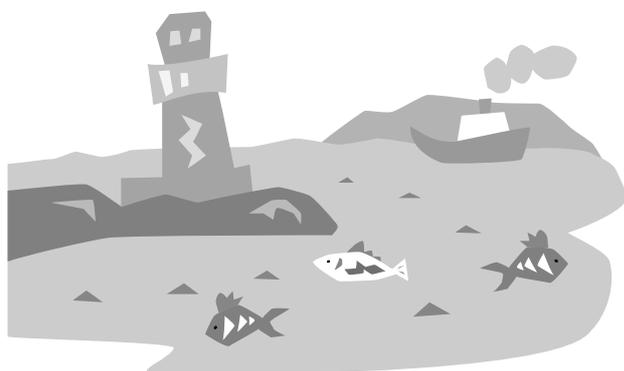
- 地先の水産資源の保護育成のため、魚礁の整備に努めます。
- 稚貝、稚魚の放流を進め、資源増殖を図り、管理体制の強化を推進します。

### ( 2 ) 流通機能の強化

- 網代・東漁港及び田後港の整備を促進します。
- 魚介類の付加価値を高めるため、流通体制の強化を図ります。
- 市場統合について調査研究を行います。
- 水産物のPRを強化し消費拡大を図ります。

### ( 3 ) 経営基盤の強化と新規就業者の確保

- 漁協合併を推進し経営基盤強化に努めます。
- 新規就業の確保に努めます。
- 経営安定のための利子補助を行います。
- 地域資源を活かした漁村づくりを推進し、積極的な都市との交流を促進し漁村の活性化を図ります。
- 漁村集落の環境整備を推進し、若者の定住を促進します。



## 商工業の振興

### 現況と課題

#### 【商業】

本町の商業は、小規模経営、経営者の高齢化、後継者不足に加え、購買力の近郊都市への流出等により厳しい状況におかれており、経営基盤の強化を図るとともに、情報化の推進等により若者に魅力のある商店街づくりに努める必要があります。

#### 【工業】

本町の企業は、自社製品を持たない下請け企業が多くを占め、相対的に基盤の弱いものが大半を占めています。

工業を取り巻く環境は、技術革新や情報化の急速な進展、国際化などにより大きく変化しており、変動する経済

社会に対応できる人材の確保や情報化の推進等により、企業の発展、省力化を図るとともに、優良企業の誘致等により生産性を高め、地域経済の活性化に努めなければなりません。



### 基本的方向

商業は、立地する地点の環境に影響される性向の強い産業であり、本町においても停滞感を強めています。商店街は、利便性を追求するだけの場ではなく、楽しみの場、地域文化の交流の場であり、コミュニティ機能、アメニティ機能は一層の重要性をもっています。地元住民から愛される商店街づくりを進めていくため、小規模事業者の育成、商業者の人材育成、経営意欲の向上、イベント等による連帯意識の向上、コミュニティ機能を高める商店街づくり等を推進します。

工業は、事業所数、従業者数とも減少傾向にあります。企業間の連携を行いながら体質強化を図るとともに、企業誘致に努めます。

### 施策

#### (1) 商工業の振興

- 小口融資と制度融資の充実に努め、経営基盤の強化を推進します。
- 高齢者が気軽に利用できる商業体制づくりを進めます。
- 観光、農林水産業と連携した特産品の開発、観光資源の活用を推進します。
- 商業ゾーン（岩美駅前）を核とした商業体制づくりを進めます。
- 商工会と連携し企業誘致を進めます。

## 観光の振興

### 現況と課題

本町は、山陰海岸国立公園・名勝天然記念物浦富海岸、国民保養温泉地・ゆかむりの郷岩井温泉、天然林が広がる国定公園河合谷高原など豊かな自然に恵まれているほか、先人から引き継いできた伝統文化、新井三嶋谷墳丘墓、二上山城跡など多くの貴重な歴史的遺産など多種多様の観光資源に恵まれています。

本町の観光はこれらの豊富な資源を背景に基幹産業として発展してきましたが、近年、海水浴や温泉浴などの従来の観光に加え、こころを癒すための空間や感動を追求した自然とのふれあい体験や日常生活で体験することのできない社会体験、生活体験などの観光が求められるようになってきました。

このような多様化した観光ニーズに応えるに十分な豊富な観光資源が本町には潜在しております。特に、豊かで多彩な自然や歴史資源をはじめ、本町のほとんどを占める農林漁村の生活文化にふれる体験は、都市からの観光客のこころにやすらぎと潤いを与えるものです。第6次総合計画でもシュノーケル、イカ釣りなど主に海での体験を観光に取り入れてきましたが、農林漁業や商工業との連携を深め、多くの体験・滞在メニューを開発して、観光客の多様なニーズに応じていく必要があります。

また、インターネットの活用等により、最新の観光情報を発信し、また、広域連携により多彩な魅力を備えた観光圏を形成し、観光客の誘致を進める必要があります。

### 基本的方向

近隣市町村には例を見ない豊かで多彩な自然や本町独自の歴史・文化等を観光資源として活用促進するとともに、豊かな自然や生活文化にふれる多様な体験・滞在型観光を推進し、地元のものを活用した地産地消を進めます。

また、観光客へのサービス向上と誘致に向けて、情報発信と広域連携を進めます。

### 施策

#### (1) 魅力ある観光地づくり

- 自然環境に配慮しながら、浦富海岸の自然探勝歩道、展望台などの観光施設の整備を促進します。
- 公園化・景観形成計画にもとづき、観光地をつなぐ全町的な公園化・景観の形成に努めます。
- 浦富海岸地域活性化基本計画にもとづき、地域の自慢づくりや観光地としての魅力を高めるソフト事業を展開します。
- 自然、文化、歴史資源等を観光資源として活用するため、案内板、道標の整備充実を図り

ます。

- 海水浴の安全対策のため、ライフセーバーによる監視体制の充実等を推進します。
- 各種団体と連携して海岸の美化清掃を徹底し、日本一美しい海岸を多くの利用者に提供します。
- 歴史的建造物、風習など多くの観光資源を持つ岩井温泉については、国民保養温泉地として個性ある整備を進めます。
- 岩井温泉生まれの小説家尾崎翠の小説に登場する地域ルートの整備を推進します。
- 観光客が参加・体験できる各種イベントを開催して、交流人口を増やすとともに、受入体制の強化に努めます。
- 浦富地内の泉源の有効利用について検討します。
- 県立自然科学館のリニューアルを促進します。

#### (2) 観光情報の発信

- 観光情報紙いわみ倶楽部発行やインターネットの活用等により、最新の観光情報を発信します。
- マスコミや観光情報誌を利用して、魅力ある本町の観光地の情報発信をします。
- 広域連携により多彩な魅力を備えた観光圏を形成し、観光客の誘致を進めます。



#### (3) 観光事業者の育成

- 観光協会と連携して、意欲ある経営者の育成を図ります。
- 公的融資制度の活用により、民宿など施設経営の安定を図ります。

#### (4) まちの他産業との連携

- 自然や農林漁村の生活文化にふれる多くの体験・滞在メニューを開発し、多様化してきた観光需要に応えます。
- 旅館、民宿等で提供する食材の地産地消を進めます。
- 地場産品を使った商品開発を進めます。

### 主 な 事 業

区 分	事業主体	5 力年の事業
観光施設整備	県	県立自然科学館の再整備
特産品開発	町、観光協会、その他	特産品開発の施設整備